

OYSTER PERPETUAL
SEA-DWELLER
ROLEX DEEPSEA



ROLEX

はじめてご使用になる際は

ロレックスをはじめてご使用になる際や、時計が止まった時には正確に動くようにゼンマイを巻く必要があります。

ゼンマイを巻くには、リューズを反時計回りに回しゆるめた状態で、リューズを時計回りに回します。

(逆に回してもゼンマイは巻かれません)

十分にゼンマイが巻きあがるよう、少なくとも25回転以上リューズを回してください。着用中は手首の動きによってゼンマイが自動的に巻かれます。

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んで元に戻してください。



お買い求めのロレックスについているグリーン
のタグは、高精度クロノメーターであることを意味します。
この独自の称号は、ムーブメントが COSC（スイス
公認クロノメーター検査協会）による公式認定
を受けており、さらにロレックスが自社内で行う
一連の最終検査を通過したことを証明しています。
クロノメーター精度及び、防水性能、自動巻、信頼性
を独自に検査することにより、ロレックスは機械式
腕時計の卓越性において新たな基準を打ち立てて
います。さらなる詳細は、[rolex.com](https://www.rolex.com)をご覧ください。



シードウエラー/ロレックス ディープシー

オイスター パーペチュアル シードウエラー	4-5
オイスター パーペチュアル ロレックス ディープシー	6-7
ヘリウム排出バルブ	8-9

操作方法

各部の名称	10-11
操作方法	12-15
逆回転防止ベゼル	16-17
ロレックス グライドロック エクステンションシステム	18-21

ロレックス アフターサービス

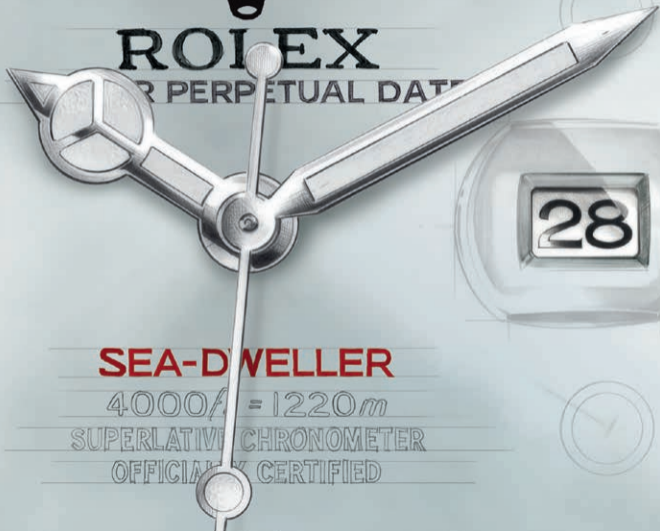
お手入れ方法	22-23
アフターサービス	24-25
ワールドワイドサービス	26

ROLEX.COM



ROLEX

PERPETUAL DATE



SEA-DWELLER

4000ft = 1220m

SUPERLATIVE CHRONOMETER

OFFICIALLY CERTIFIED

オイスター パーペチュアル シードウエラー

深海潜水の先駆者たちに同行するために開発されたオイスター パーペチュアル シードウエラーは水深1,220m(4,000フィート)までの防水性能を保証し、ヘリウム排出バルブや逆回転防止ベゼルにより、プロダイバーのための潜水ツールとなっています。ダイヤルは暗闇でブルーの光を放つ長時間継続の発光素材を採用したクロマライトアワーマーカーと針を備え、優れた視認性を提供します。43mmのケースは堅牢性の象徴となっています。三重密閉構造のトリプロックリュースはミドルケース一体型のリュースガードにより保護され

3時位置にサイクロップレンズを備えたサファイアクリスタルは耐傷性に優れ、反射防止コーティングが施されています。

オイスター パーペチュアル シードウエラーはロレックスが完全自社製造した機械式自動巻ムーブメントを搭載しています。

オイスター パーペチュアル シードウエラーのオイスターブレスレットは、セーフティキャッチ付オイスターロッククラスプを備え、ロレックス グライドロック エクステンションシステムを搭載しています。



ROLEX

PERPETUAL DATE

DEESEA



SEA-DWELLER

12800 *h* = 3900 *m*

SUPERLATIVE CHRONOMETER

OFFICIALLY CERTIFIED

オイスター パーペチュアル ロレックス ディープシー

オイスター パーペチュアル ロレックス ディープシーはロレックスの高い防水技術を示しています。ロレックスが開発した特許取得のケース構造であるリングロック システムにより、水深 3,900m (12,800 フィート) までの防水性能を備え、巨大な水圧にも耐えることができます。ヘリウム排出バルブや逆回転防止ベゼルによりこのモデルはプロダイバーのための潜水ツールとなっています。ダイヤルは暗闇でブルーの光を放つ長時間継続の発光素材を採用したクロマライトアワーマーカーと針を備え、優れた視認性を提供します。44mmのケースは、堅牢性の象徴となっています。三重密閉構造のトリブロックリュースは

ミドルケース一体型のリュースガードにより保護されており、サファイアクリスタルは耐傷性に優れ、反射防止コーティングが施されています。

オイスター パーペチュアル ロレックス ディープシーは、ロレックスが完全自社製造した機械式自動巻ムーブメントを搭載しています。

オイスター パーペチュアル ロレックス ディープシーのオイスタープレスレットは、セーフティキャッチ付オイスターロッククラスプを備え、ロレックスグライドロック エクステンションシステムを搭載しています。

ヘリウム排出バルブ

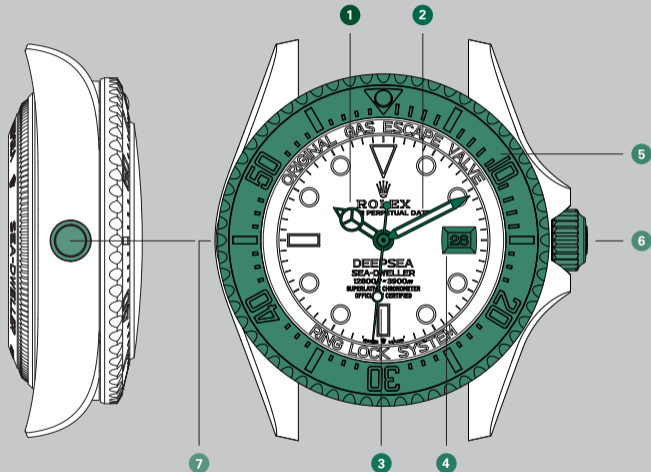
プロの飽和潜水ダイバーは、高圧室に長時間滞在する必要があり、そこで呼吸する混合ガスにはかなりの割合でヘリウムが含まれています。ヘリウムの分子は非常に小さいため、時計のケース内部に侵入します。

ダイバーが体内に吸収した混合ガスを徐々に減らし通常の気圧に戻す減圧過程において、ヘリウムが時計のケースから迅速に排出されないことがあります。この現象により、時計内部の圧力が高まり、破損したりクリスタルがケースから外れたりすることがあります。

時計の防水性能を損なうことなくガスを排出することができるよう、オイスター パーペチュアル シードウエラーとオイスター パーペチュアル ロレックス ディープシーは、ケース内部の圧力が高くなりすぎると自動的に作動する一方向のヘリウム排出バルブを備えています。

各部の名称

- 1 時針
- 2 分針
- 3 秒針
- 4 日付表示
- 5 60分目盛り入りセミラック製セラクロムベゼル
インサートを備えた逆回転防止ベゼル
- 6 トリブロックリュース
(三重密閉構造)
- 7 ヘリウム排出バルブ



図はオイスター パーペチュアル ロレックス ディープシー

操作方法

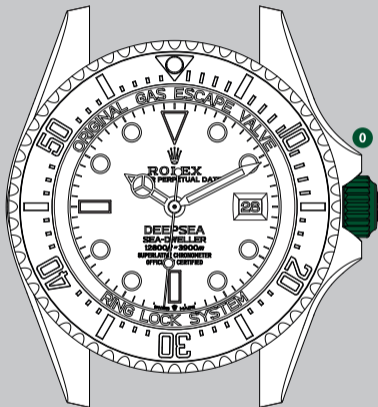
リユース位置 0

リユースが十分にねじ込まれている状態です。

リユースがこの位置にあるときに、オイスター パーペチュアル シードウエラーは水深1,220m (4,000フィート)まで、オイスター パーペチュアル ロレックス ディープシーは水深3,900m (12,800フィート)までの防水性能を保証します。

リユース位置 1 – ゼンマイを巻く

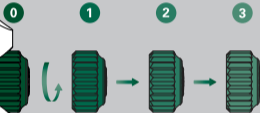
リユースをゆるめます。ゼンマイを巻くには、リユースを時計回りに回します。逆に回しても、ゼンマイを巻くことはできません。はじめてご使用になる際や時計が止まった時には、少なくとも25回転以上リユースを回しゼンマイを巻きあげてください。



図はオイスター パーベチュアル
ロレックス ディープシー

はじめてご使用になる前に

- A. ゼンマイを巻いてください。
(リユース位置1 - P12参照)
- B. 日付が深夜12時に変わることを確認し
時刻を合わせてください。
(リユース位置3 - P14-15参照)
- C. 日付を合わせてください。
(リユース位置2 - P14-15参照)



リユースをゆるめた後、外側に引き出します。

防水性を確実にするため、リユース操作後は、必ず十分にリユースをねじ込んでください。リユースをケースにねじ込むには、1の位置 までリユースを戻してください。その後リユースをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリユースの操作は絶対にしないでください。

リューズ位置 2 – 日付を合わせる

リューズを1段階引き出します。

日付を合わせるには、リューズを時計回りに回します。

逆に回しても、日付を変えることはできません。

この操作を行っている間も、時計は動いています。

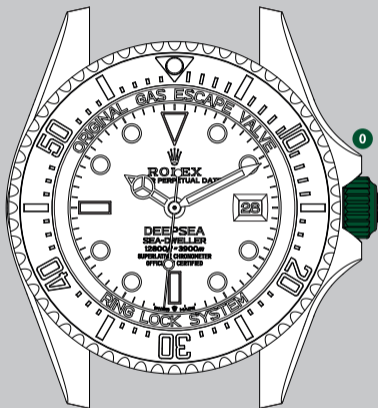
リューズ位置 3 – 時刻を合わせる

リューズを2段階引き出します。

リューズをいずれかの方向に回し時刻を合わせます。

この位置では秒針が止まっているので、正確な時刻合わせが可能です。

午前と午後を正しく設定するために、一度、針を12時まで進めてください。日付が変わった場合は深夜12時を示しています。



0



1



2



3



リューズをゆるめた後、外側に引き出します。

図はオイスター パーベチュアル
ロレックス ディープシー

防水性を確実にするため、リューズ操作後は、必ず十分にリューズをねじ込んでください。リューズをケースにねじ込むには、1の位置 までリューズを戻してください。その後リューズをケースに押し込みながら、時計回りに最後までねじ込んでください。水中でのリューズ操作は絶対にしないでください。



逆回転防止ベゼル

オイスター パーペチュアル シードウエラーとオイスター パーペチュアル ロレックス ディープシーには、耐久性に優れたセラミック製の60分目盛りセラクロムベゼルインサートを備えた逆回転防止ベゼルが搭載されているため、ダイバーは安全に潜水時間を確認することができます。

潜水の前に

潜水を開始する前に、ベゼルの三角形のマークが分針の位置にくるまでベゼルの回転させてください。蓄光カプセルにより暗い水中でも、潜水を開始した時刻を読み取ることができます。

潜水中

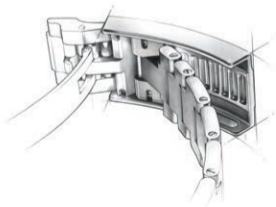
分針がセラクロムベゼルインサートの目盛りで潜水時間を示します。

安全上の理由から、ベゼルは反時計回りにしか回転しません。そのため、誤ってベゼルが回転してしまったとしても、実際の潜水時間が予定の潜水時間より短くなるだけです。

ロレックス グライドロック エクステンションシステム*

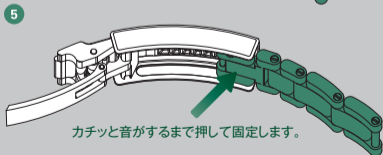
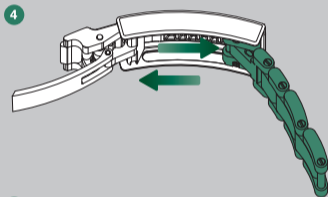
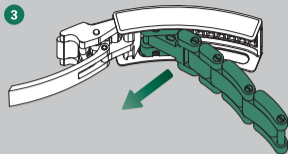
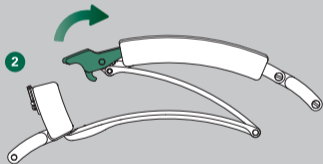
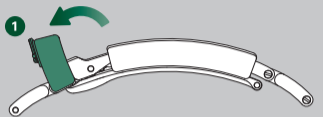
*オイスター パーベチュアル シードウエラー

オイスタープレスレットに搭載されたロレックス
グライドロック エクステンションシステムは
プレスレットの長さを約 2 mm単位で約 20 mm
まで延長可能です。これにより、ダイビングスーツ
の上からでも時計を装着することができます。



プレスレットの調節方法

- 1 セーフティキャッチを開きます
- 2 クラスポを開きます
- 3 プレスレットを引き出し、刻みから外します
- 4 お好みの長さにプレスレットの位置を調節します
- 5 プレスレットを元に戻し、ロックします



カチッと音がするまで押して固定します。

図は、オイスター パーベチュアル シードウエラー

ロレックス グライドロック エクステンションシステム*

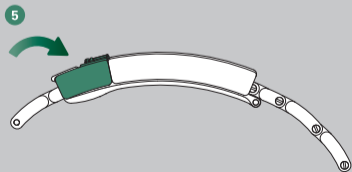
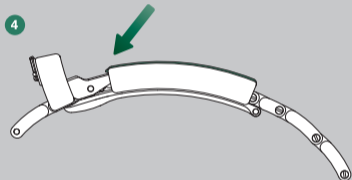
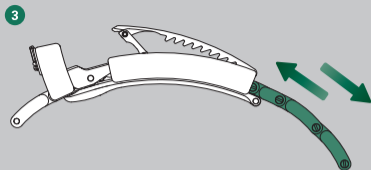
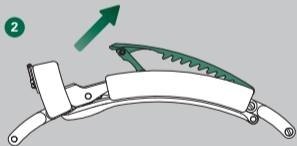
*オイスター パーベチュアル ロレックス ディープシー

オイスタープレズレットに搭載されたロレックス グライドロック エクステンションシステムは、プレズレットの長さを約 2 mm 単位で約 20 mm まで延長可能です。これにより、ダイビングスーツの上からでも時計を装着することができます。

プレズレットの調節方法

- 1 セーフティキャッチを開きます
- 2 センターパネルを引き上げます
- 3 お好みの長さまでプレズレットをスライドさせます
- 4 センターパネルを戻します
- 5 セーフティキャッチを閉じます





お手入れ方法

日々の簡単なお手入れによってご愛用のロレックスをより良い状態に保つことができます。

必要に応じて、柔らかい布(マイクロファイバークロス等)で拭いてください。ケースやブレスレットを柔らかいブラシと石鹼水で洗うことも可能です。また、海でご使用の後は、真水で海水や砂をよく洗い流してください。

お手入れの際は、防水性を確実にするために
リュースが最後までねじ込まれていることを
ご確認の上、行ってください。

アフターサービス

ロレックス ウォッチが最適な性能を保ち、精度と信頼性、防水性能におけるロレックスの厳しい条件を長きにわたり満たすために、ロレックスでは万全のアフターサービス体制を整えています。

時計が正確に時を刻み続けるために、ロレックスが特別に開発した高性能な潤滑油が使用され、摩擦を軽減し、部品の摩耗を防いでいます。正確性と防水性能の維持を確実にするために、ロレックスでは定期的なオーバーホールをお勧めしております。オーバーホールはロレックス正規品販売店またはロレックス サービスセンターで受け付けており、ロレックスのウォッチメーカーが承ります。

オーバーホールでは、ケース、ブレスレット、ムーブメントといった全ての構成部品が分解され、入念に検査されます。

ムーブメントは完全に分解され、すべての部品が綿密に点検されます。ロレックスの品質基準を満たしていない部品は新しい部品に交換されます。ムーブメントは再度組み立てられる際に注油されます。ケースとブレスレットは本来の仕上げに従って、ポリッシュ仕上げまたはサテン仕上げが施され、傷などが取り除かれ、輝きと光沢を取り戻します。

最後の工程で、時計の機能、防水性能、パワーリザーブおよびムーブメントの精度を確認するために一連の検査が行われます。

オーバーホールを終えたロレックスには、サービス保証書が発行されます。

ワールドワイドサービス

ロレックスの正規品販売店とサービスセンターは世界100カ国以上にネットワークを広げ、ロレックスのサービスセンターにはトレーニングを受けた熟練のウォッチメーカーがいます。

ロレックス正規品販売店では時計の機能やアフターサービスに関するご相談も承っております。ブレスレットのサイズ調整やオーバーホールについては、ロレックス正規品販売店やサービスカウンターまたは日本ロレックス サービスセンターにご相談ください。

ロレックスの正規品販売店およびサービスカウンター、サービスセンターについては **rolex.com** でご確認ください。

ROLEX.COM

rolex.com では時計の機能や品質、ロレックスの技術、ブランドの価値観などをご紹介します。

ようこそ、ロレックスの世界へ。

Rolex reserves the right to modify the models illustrated in this publication at any time.

© Rolex SA, 3-5-7, rue François-Dussaud, 1211 Geneva 26, Switzerland
IMR-SEA-JA-22 - 4.2022

[rolex.com](https://www.rolex.com)

